z に沿って粒子を単位時間単位面積当たり N 個入射する. z 軸から距離 b (衝突パラメータ),角度 $\mathrm{d}\varphi$,面積 $\mathrm{d}S'$ のスリットを単位時間当たりに通過する粒子数は

$$N \, \mathrm{d}S' = N \, \mathrm{d}\varphi \, (b \, \mathrm{d}\varphi) \tag{0.0.1}$$

を満たす. また、単位時間に検出器に到達する粒子数は微分断面積の定義から、

$$dN = \sigma(\theta) N \, d\Omega \tag{0.0.2}$$

である. 古典力学ではこれらは必ず一致するため,

$$\sigma(\theta) N \, \mathrm{d}\Omega = N \, \mathrm{d}\varphi \, (b \, \mathrm{d}\varphi) \tag{0.0.3}$$

を得る. よって、微分断面積は

$$\sigma(\theta) = \frac{1}{\sin \theta} b \left| \frac{\mathrm{d}b}{\mathrm{d}\theta} \right| \tag{0.0.4}$$

と表される.

1 Yuto Masuda